

令和 3 年度
柏市地域包括支援センター
事業実績について

令和 4 年 7 月 1 4 日
柏市地域包括支援課

目次

(1) 介護予防・生活支援サービス事業	・・・	スライド 1
(2) 一般介護予防事業	・・・	スライド 2～3
(3) 総合相談支援業務	・・・	スライド 4～6
(4) 権利擁護業務	・・・	スライド 7～8
(5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	・・・	スライド 9～12
(6) 認知症総合支援事業（認知症高齢者見守り事業・認知症サポーター養成事業を含む）	・・・	スライド 13～15
(7) 地域ケア会議推進事業	・・・	スライド 16～18
令和2年度との比較	・・・	スライド 19
まとめ	・・・	スライド 20

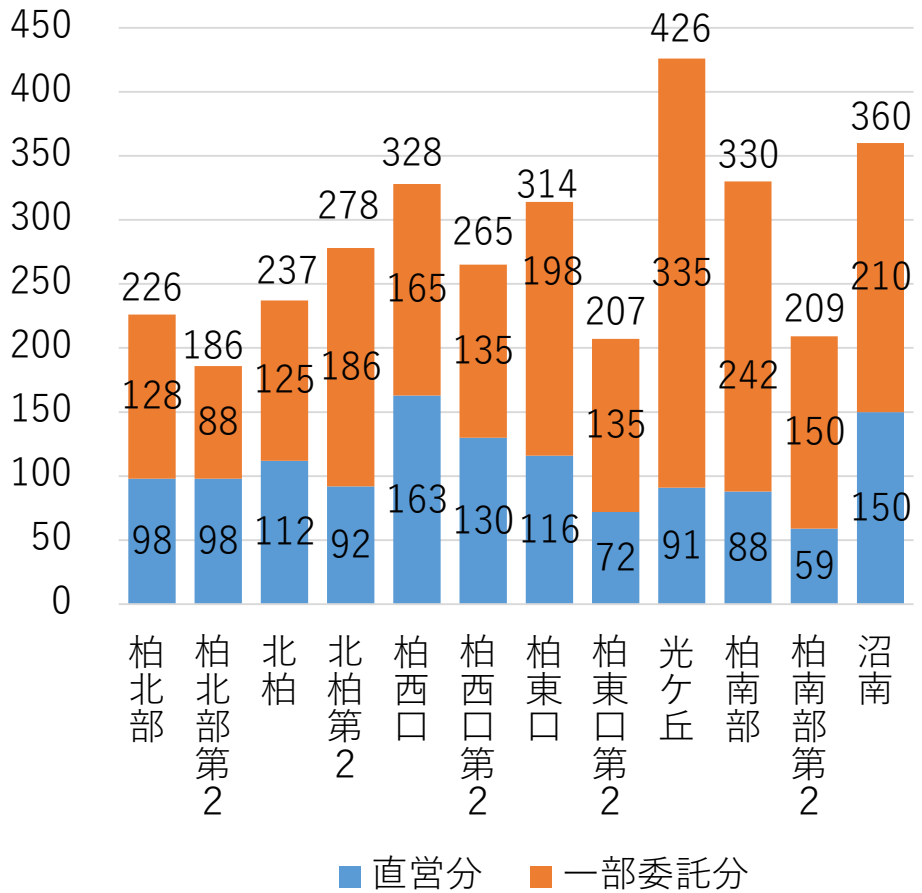
(1) 介護予防・生活支援サービス事業

(参考資料1 P1参照)

ケアプラン作成件数 (R4.3月分)

介護予防ケアプラン件数	3,366 件
うち、居宅介護支援事業所へ委託した件数 (一部委託)	2,097 件
委託率	62.3 %

センター別 作成件数 (R4.3月分)



⇒要支援者及び事業対象者のケアプラン作成数は前年度より増加しており、委託率は62.3%である (R3.3月分は3,260件で委託率65.2%)。

(2) 一般介護予防事業①

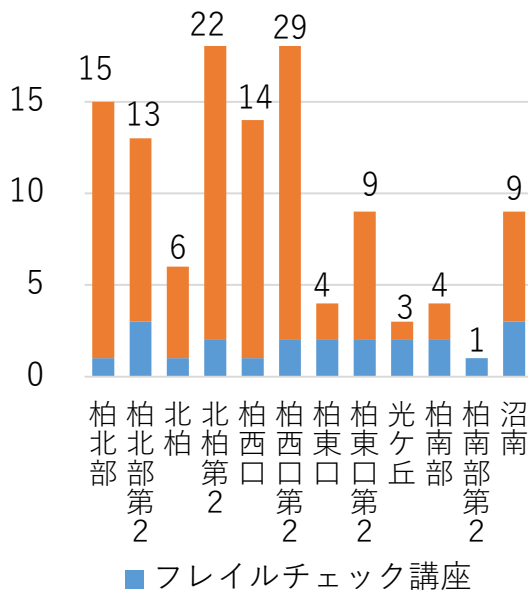
(参考資料 P2参照)

ア 介護予防普及啓発事業

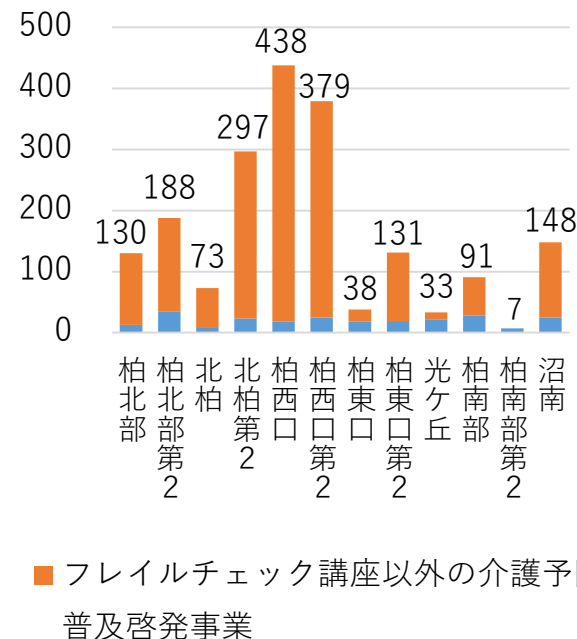
(ア)ウ) 講座等開催状況

フレイルチェック講座	開催回数	22 回
	参加人数 (延べ)	240 人
その他の 介護予防普及啓発事業	開催回数	107 回
	参加人数 (延べ)	1,713 人

センター別 開催回数



センター別 参加人数 (延べ)

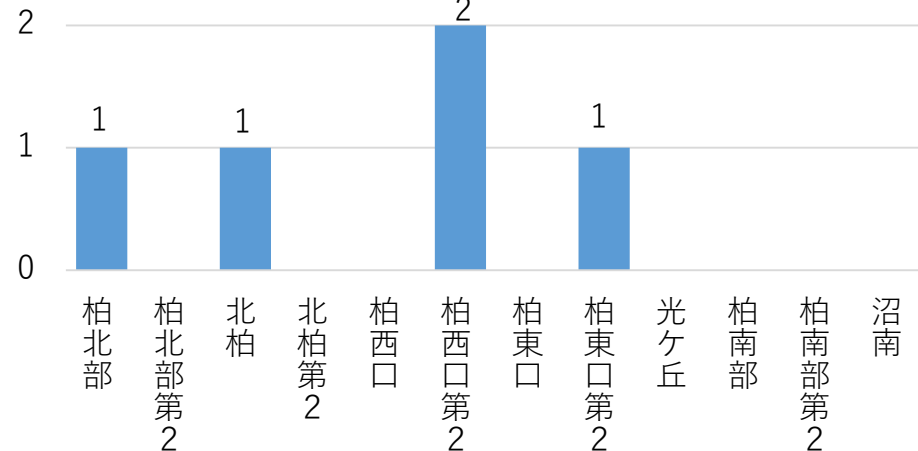


(イ) フレイル予防応援プログラム

利用者	5 人
-----	-----

⇒フレイルチェックから抽出したフレイルのハイリスク者に対し、栄養士・リハビリ職等の専門職と連携して個別支援を行った。

センター別 プログラム利用者数

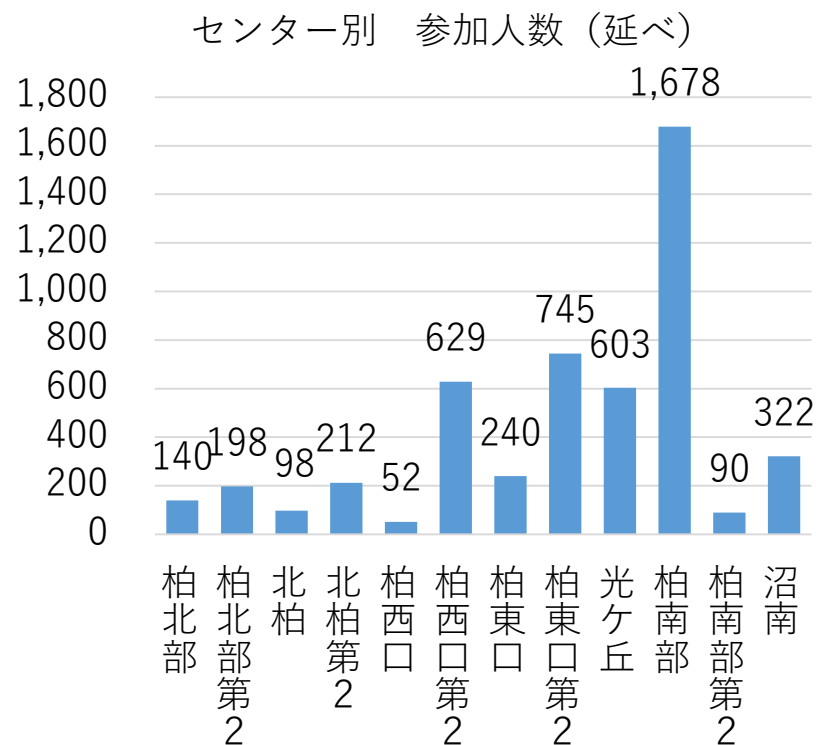
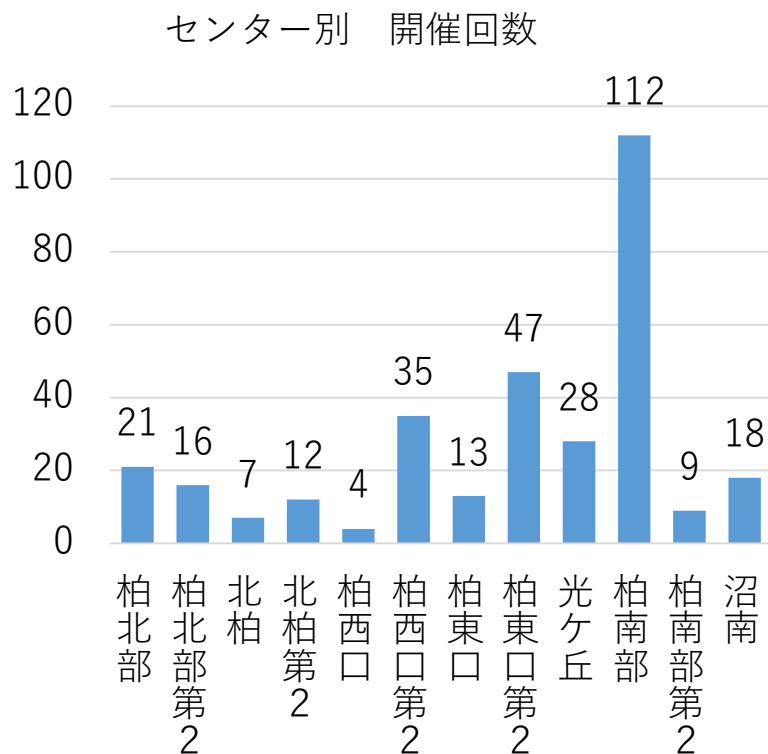


イ サークルやサロン等の地域の団体への支援

開催回数	参加人数 (延べ)
322 回	5,007 人

⇒地域サロンや通いの場において、他事業と連携した住民主体の活動を支援した。

また、フレイル予防の自主サークルの立ち上げや新規参加者の受け入れにつなげる等の支援を行った。



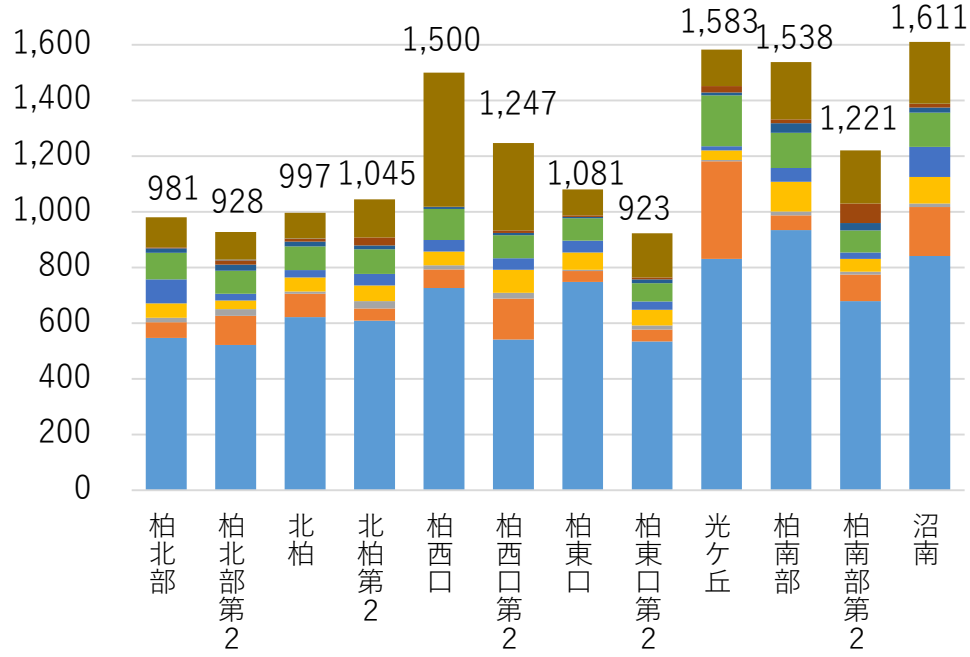
(3) 総合相談支援業務①

(参考資料 P4,5参照)

総合相談件数

実件数	13,243 人
延べ件数	14,655 人

⇒相談件数は前年度と比較し、増加している。
 (R2は実件数12,674件、延べ件数14,442件)



- その他
- 生活支援体制整備事業
- 認知症に関する事業
- 権利擁護業務
- 指定介護予防支援事業及び第1号介護予防支援事業
- 介護者の離職防止に関する相談
- 在宅医療・介護連携推進事業
- 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
- 一般介護予防事業
- 介護保険や高齢者福祉制度・サービス

<参考：日常生活圏域データ（令和3年10月1日現在）>

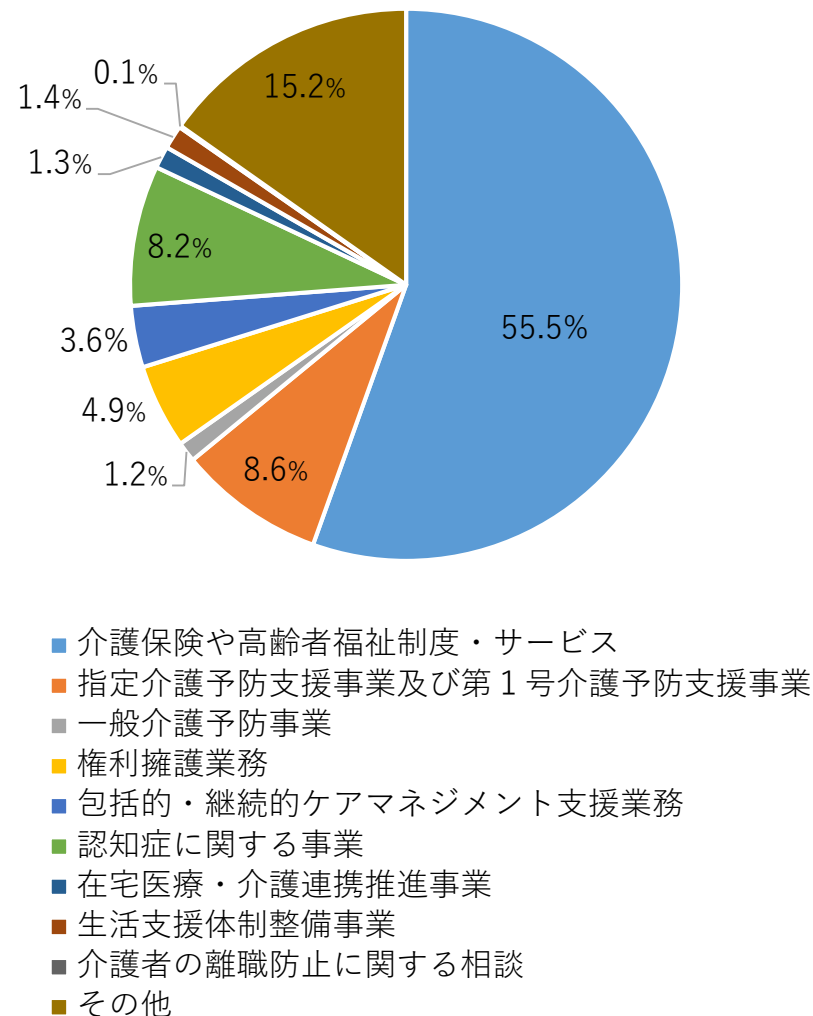
内容	柏北部	柏北部第2	北柏	北柏第2	柏西口	柏西口第2	柏東口	柏東口第2	光ヶ丘	柏南部	柏南部第2	沼南	計
65歳以上人口	8,709人	7,367人	7,479人	9,400人	8,334人	7,476人	9,851人	7,543人	11,340人	12,530人	7,387人	14,711人	112,127人
高齢化率	19.8%	25.5%	31.1%	29.5%	26.2%	20.6%	23.3%	23.5%	27.7%	30.3%	30.4%	27.7%	26.0%
要介護認定率	13.8%	14.5%	16.3%	14.1%	19.1%	15.7%	16.4%	16.0%	17.2%	15.4%	16.8%	14.5%	16.1%

(3) 総合相談支援業務②

(参考資料 P4,5参照)

内容別 相談件数

内容	延べ件数
介護保険や高齢者福祉制度・サービス	8,136件
指定介護予防支援事業及び第1号介護予防支援	1,259件
一般介護予防事業	172件
権利擁護業務	724件
包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	529件
認知症に関する事業	1,205件
在宅医療・介護連携推進事業	190件
生活支援体制整備事業	202件
介護者の離職防止に関する相談	6件
その他	2,232件
計	14,655件

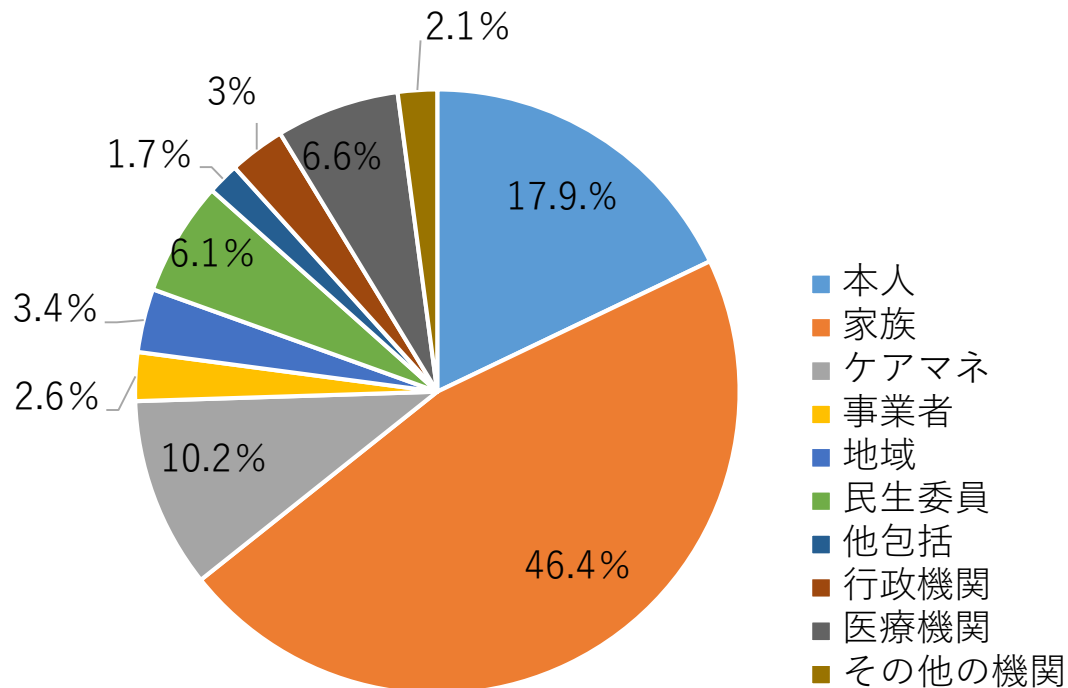


⇒介護保険や高齢者福祉制度・サービスに関する相談が8,136件（53.9%）で最も多く、指定介護予防支援事業及び第1号介護予防支援に関連する相談（1,259件、8.6%）、認知症に関する事業に係る相談（1,205件、8.2%）と続いた。

(3) 総合相談支援業務③

相談者別 相談件数

相談者	延べ件数
本人	2,627件
家族	6,798件
ケアマネ	1,499件
事業者	377件
地域	497件
民生委員	892件
他包括	243件
行政機関	437件
医療機関	973件
その他の機関	312件
合計	14,655件



⇒家族からの相談が6,798件（46.4%）と最も多く、次いで本人（家族を伴っての相談を含む）からの相談が2,627件（17.9%）であった。
⇒前年度と比較し、家族や医療機関からの相談数が増えている。

(4) 権利擁護業務①

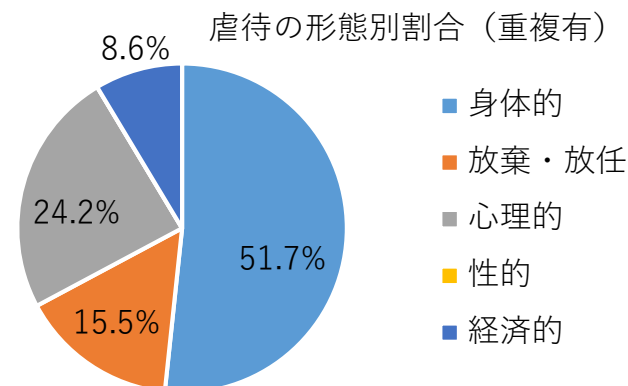
(参考資料 P6参照)

ア 高齢者虐待への対応（実件数）

(単位：件)

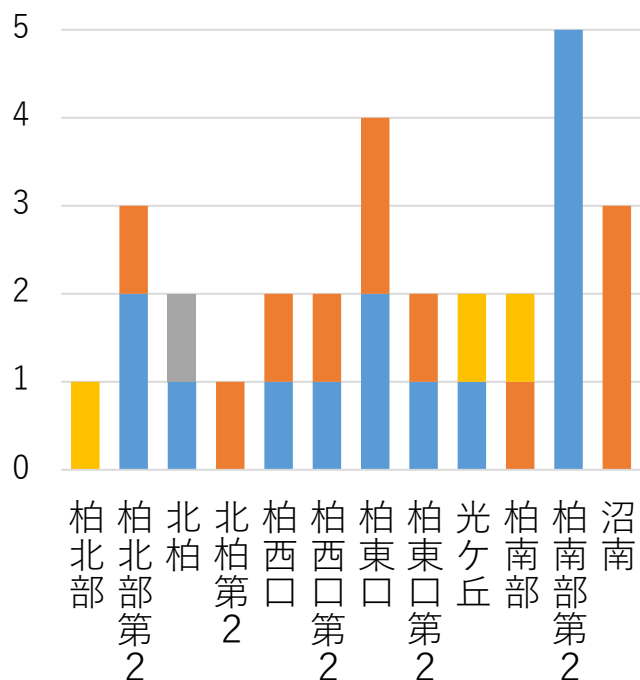
センター	通報件数	虐待として 対応した件数	虐待の形態（重複有）				
			身体的	放棄・放任	心理的	性的	経済的
柏北部	17	1	1	-	-	-	-
柏北部第2	11	4	3	1	2	-	-
北柏	9	5	4	1	2	-	-
北柏第2	9	1	-	1	-	-	-
柏西口	16	5	4	-	1	-	1
柏西口第2	10	1	1	-	1	-	-
柏東口	9	4	3	1	1	-	-
柏東口第2	14	4	2	1	2	-	1
光ヶ丘	13	7	6	-	2	-	1
柏南部	17	2	1	-	2	-	-
柏南部第2	15	1	1	1	-	-	-
沼南	25	7	4	3	1	-	2
計	165	42	30	9	14	0	5

⇒虐待（疑い）として通報された件数は165件で、そのうち、虐待として対応した件数は42件であった。
 ⇒虐待の形態としては、身体的虐待が30件（51.7%）と最も多く、次いで心理的虐待が14件（24.2%）であった。

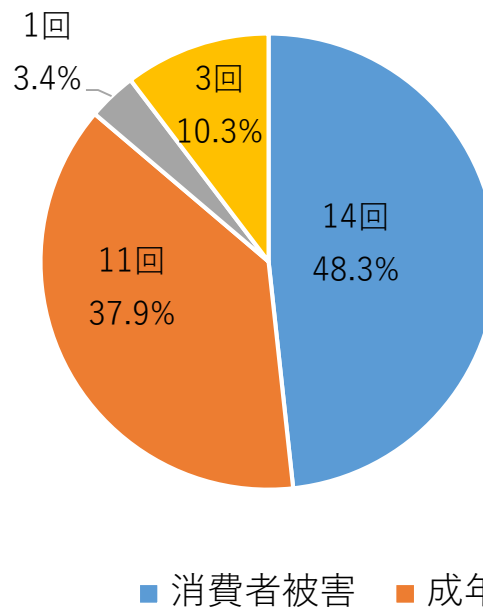


イ 権利擁護講座

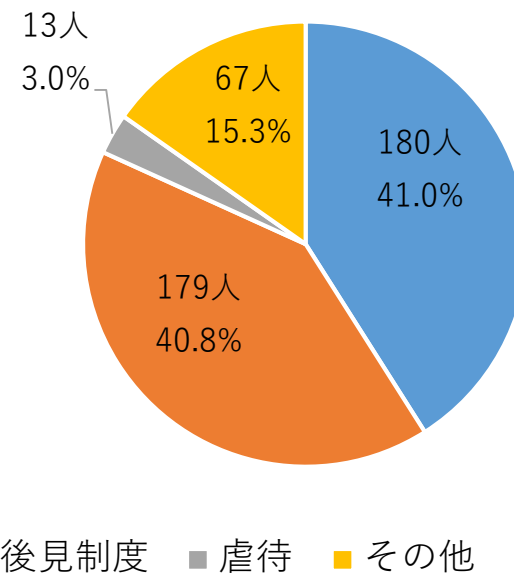
センター別 実施回数



テーマ別 実施回数



テーマ別 参加人数



- ⇒開催回数は、消費者被害に関する講座が14回（48.3%）と最も多かった。
- ⇒参加人数も消費者被害が最も多く180人（41%）で、次いで成年後見制度が179人（40.8%）であった。
- ⇒その他としては、「終活」をテーマとするものが多かった。

(5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務①

(参考資料 P8参照)

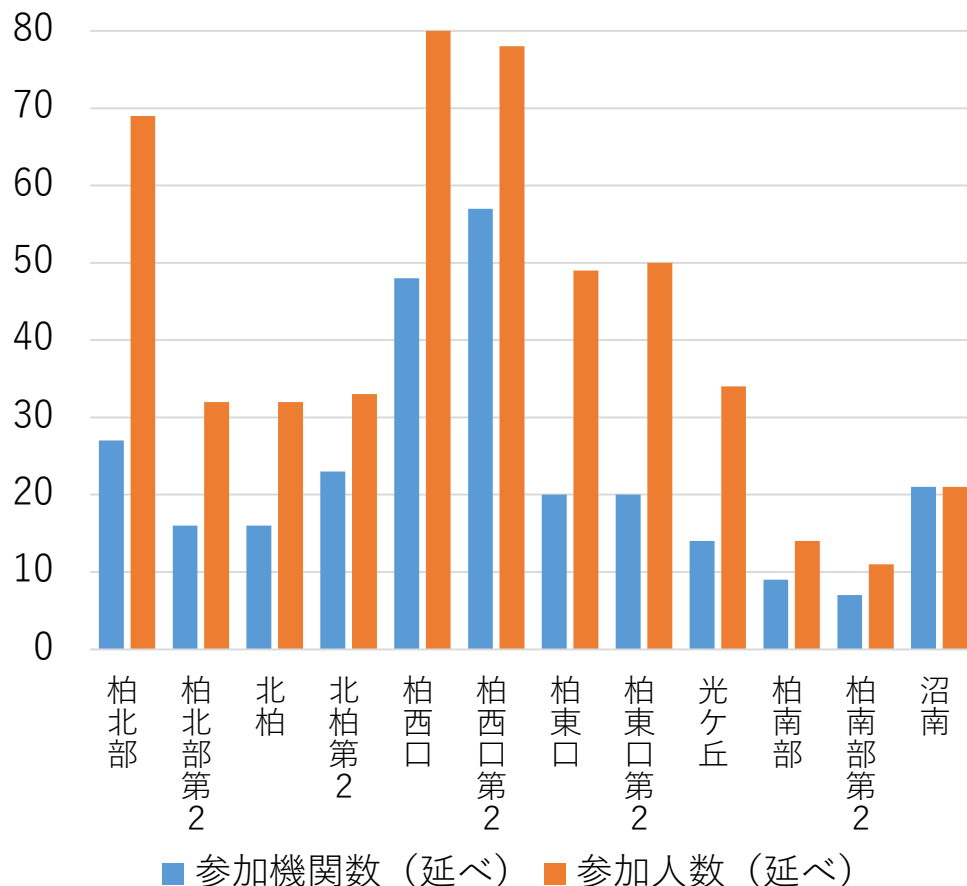
ア 地区別研修

(単位：回，機関，人)

センター	開催回数	参加機関数(延べ)	参加人数(延べ)
柏北部	2	27	69
柏北部第2	4	16	32
北柏	2※1	16	32
北柏第2	2※1	23	33
柏西口	5※2	48	80
柏西口第2	5※2	57	78
柏東口	2	20	49
柏東口第2	2	20	50
光ヶ丘	1	14	34
柏南部	1	9	14
柏南部第2	1	7	11
沼南	2	21	21
合計	—	278	503

※1はうち1回が，※2はすべてが合同開催のため，開催回数は計23回

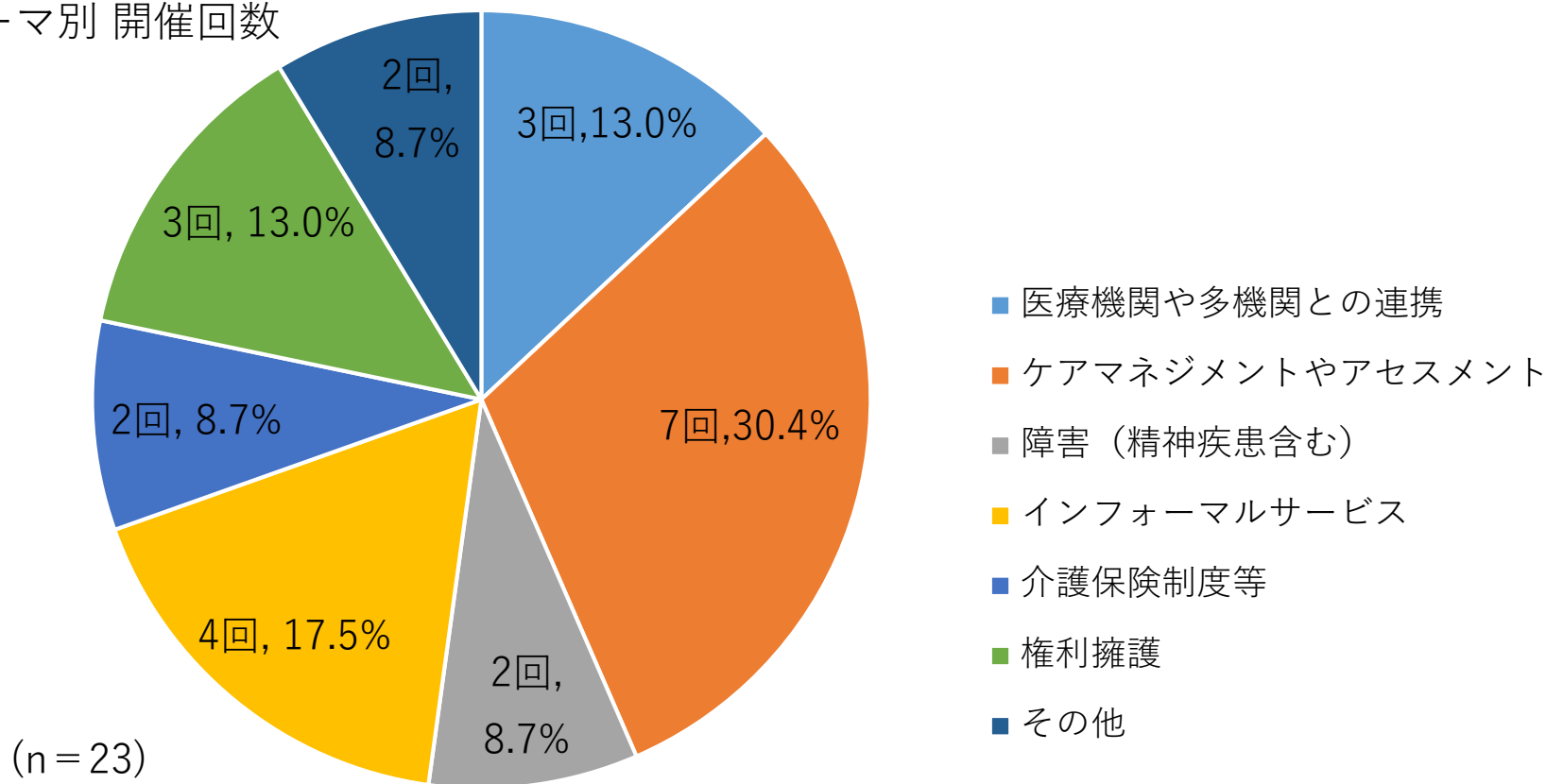
センター別 参加機関数及び参加人数



⇒ケアマネジャー相互の情報交換やネットワークの構築，ケアマネジャーの資質向上，制度や施策などに関する情報提供を行う機会として，各センターで研修を実施した。

ア 地区別研修

テーマ別 開催回数



⇒研修テーマは、ケアマネジメントやアセスメントに関することが7回（30.4%）と最も多く、次にインフォーマルサービスについてが4回（17.5%）であった。
⇒その他のテーマとしては、災害時やコロナ禍でのケアマネジャーとしての対応等について意見交換を行うものであった。

(5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務③

(参考資料 P9参照)

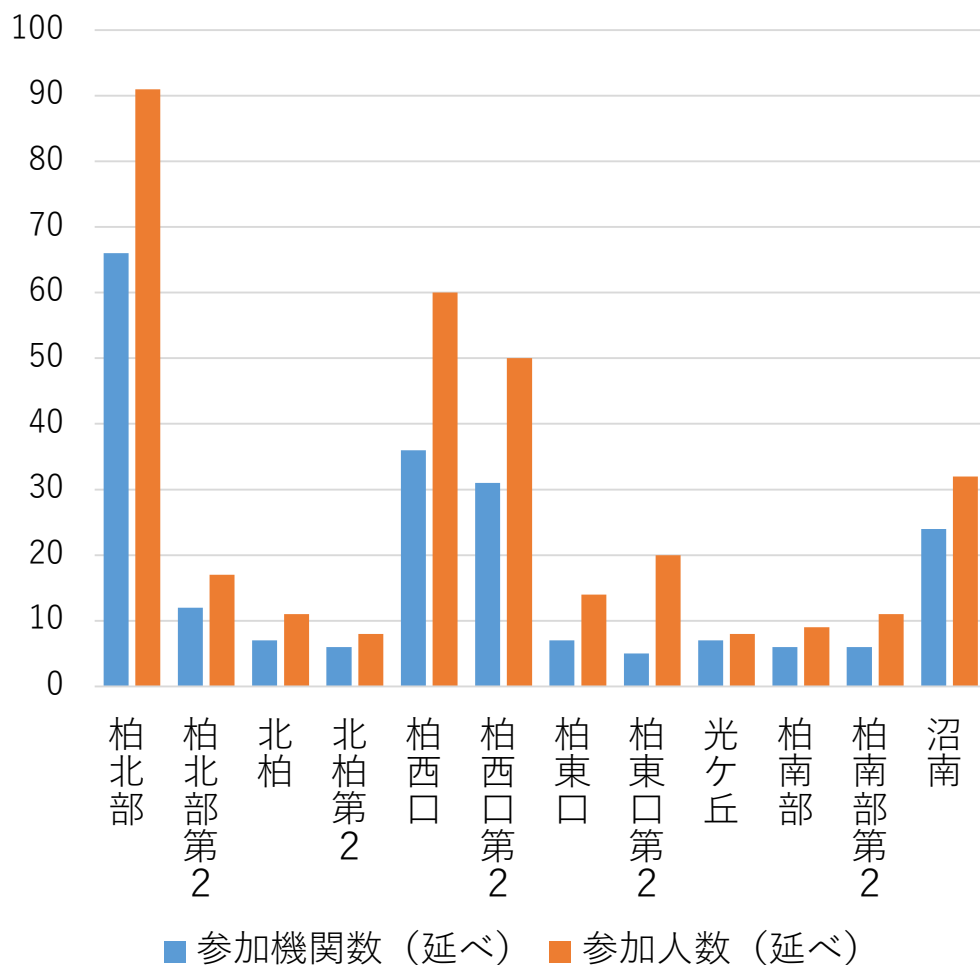
イ 事例検討会

(単位：回，機関，人)

センター	開催回数	参加機関数 (延べ)	参加人数 (延べ)
柏北部	4	66	91
柏北部第2	2	12	17
北柏	1	7	11
北柏第2	1	6	8
柏西口	4※	36	60
柏西口第2	4※	31	50
柏東口	1	7	14
柏東口第2	1	5	20
光ヶ丘	1	7	8
柏南部	1	6	9
柏南部第2	1	6	11
沼南	2	24	32
合計	—	213	331

※合同開催のため、開催回数は計19回

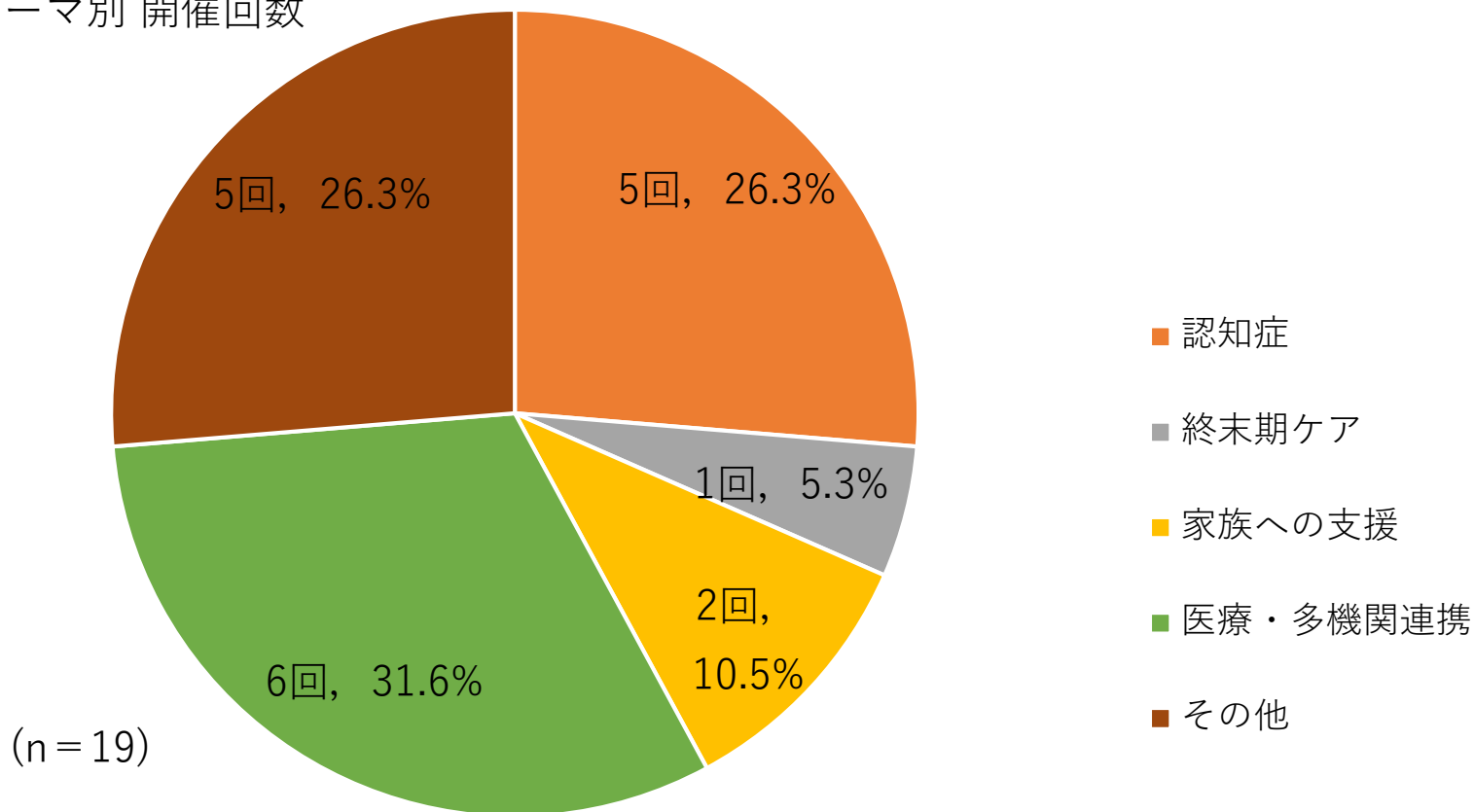
センター別 参加機関数及び参加人数



⇒ケアマネジャーの資質向上のため、センターの専門職や医療・介護・福祉等の関係機関と連携した事例検討を各センターで実施した。

イ 事例検討会

テーマ別 開催回数



⇒検討事例のテーマは、医療・多機関連携が6回（31.6%）と最も多く、次に認知症が5回（26.3%）であった。

⇒その他のテーマとしては、フレイル予防に関することや虐待対応等について検討した。

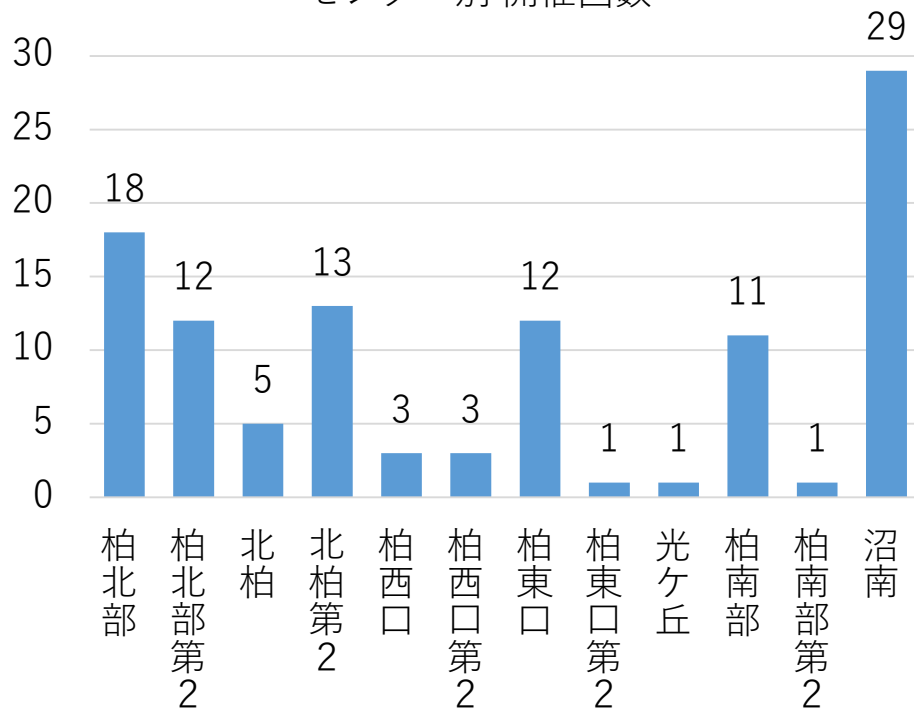
(6) 認知症総合支援事業①

(認知症高齢者見守り事業・認知症サポーター養成事業を含む)

(参考資料 P10参照)

ア 認知症サポーター養成講座

センター別 開催回数



参加者の区分	人数
民生委員・児童委員	18人
防災・防犯組織	0人
老人クラブ, サロン等	0人
自治会, 町内会等	117人
ボランティア組織	0人
介護者団体	65人
その他一般住民ほか	277人
企業・職域団体	231人
小学校	345人
中学校	57人
高校	1,402人
大学	12人
計	2,524人

⇒各センターで個人で受講できる認知症サポーターオープン講座を実施した。そのほか、講座の依頼があった団体への講師派遣やセンターから地域団体へ講座開催を働きかけるなど、認知症の普及啓発を実施した。

⇒参加者の区分は学年単位で実施する小学校や高校等の学校が多くなっている。

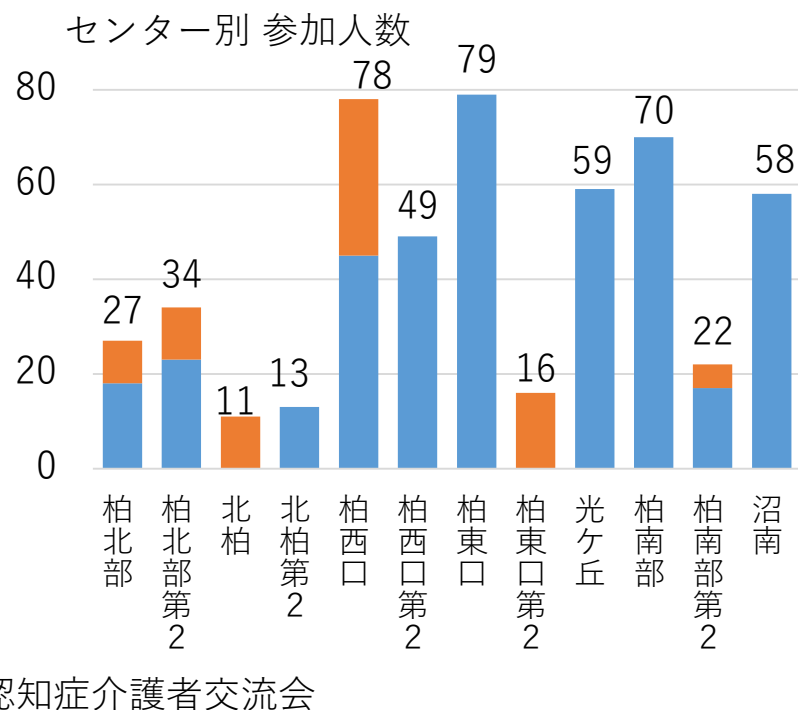
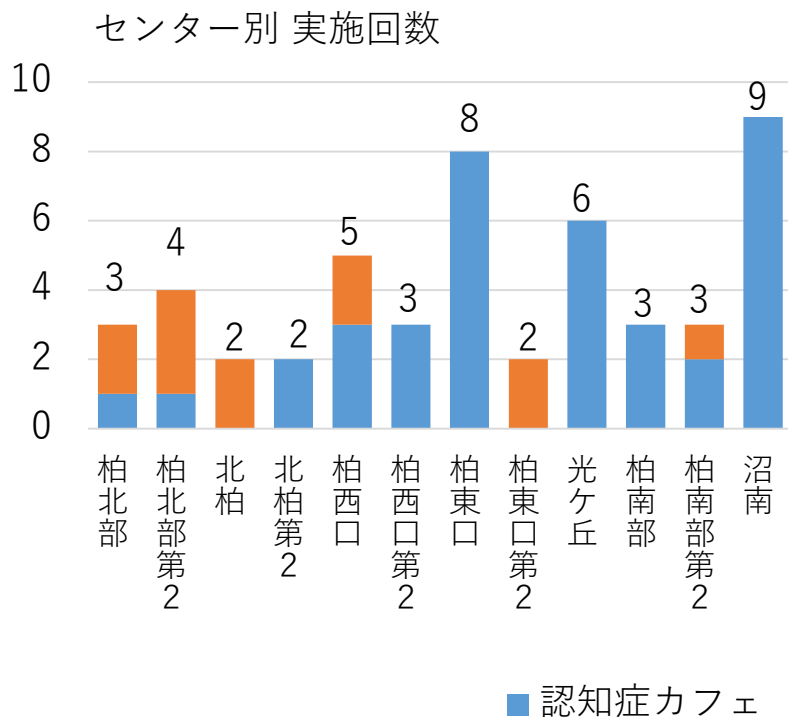
(6) 認知症総合支援事業②

(認知症高齢者見守り事業・認知症サポーター養成事業を含む)

(参考資料 P10参照)

イ 認知症カフェ（かしわオレンジホットカフェ）と認知症介護者交流会

	実施回数	参加人数
認知症カフェ	38回	431人
認知症介護者交流会	12回	85人



⇒カフェや交流会を開催し、交流の機会を通じて、認知症の方やその家族に対する支援を行った。

(6) 認知症総合支援事業③

(認知症高齢者見守り事業・認知症サポーター養成事業を含む)

(参考資料 P11参照)

ウ かしわオレンジフレンズ交流会

(単位：人，回)

センター	かしわオレンジ フレンズ登録者数 (R3年度末)	登録者のうち何ら かの活動をした者 (R3年度末)	かしわオレンジフレンズ交流会	
			開催回数	参加人数
柏北部	31	28	21	209
柏北部第2	31	13	12	89
北柏	13	12	1	2
北柏第2	17	8	1	8
柏西口	39	12	1	11
柏西口2	36	10	1	5
柏東口	32	18	1	10
柏東口第2	10	5	1	3
光ヶ丘	37	10	1	5
柏南部	17	15	3	20
柏南部第2	43	12	1	9
沼南	46	33	1	26
計	352	176	45	397

⇒オレンジフレンズは認知症カフェ等の認知症に関する事業でボランティアとして活動しているかた。登録者の半数が実際に活動を行った。

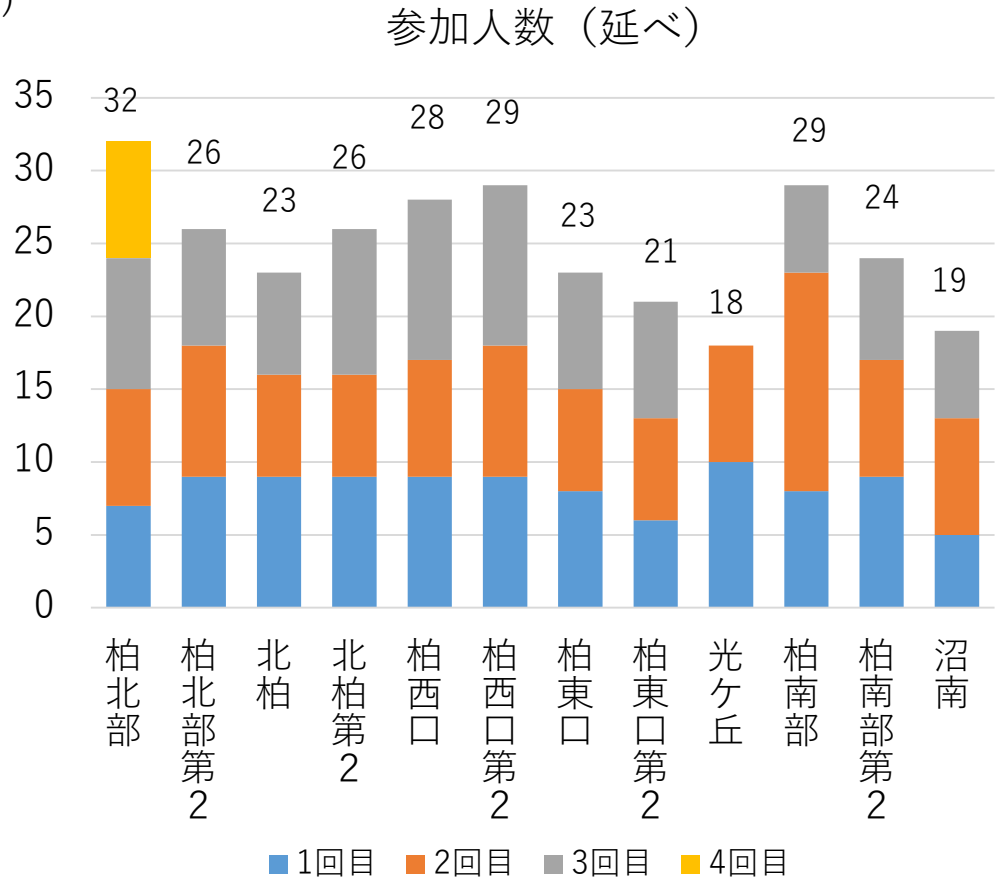
交流会では認知症に関する講話や活動に向けての話し合い等を行ったほか、認知症の方とのウォーキングを交流の場とした。

(7) 地域ケア会議推進事業①

(参考資料 P12参照)

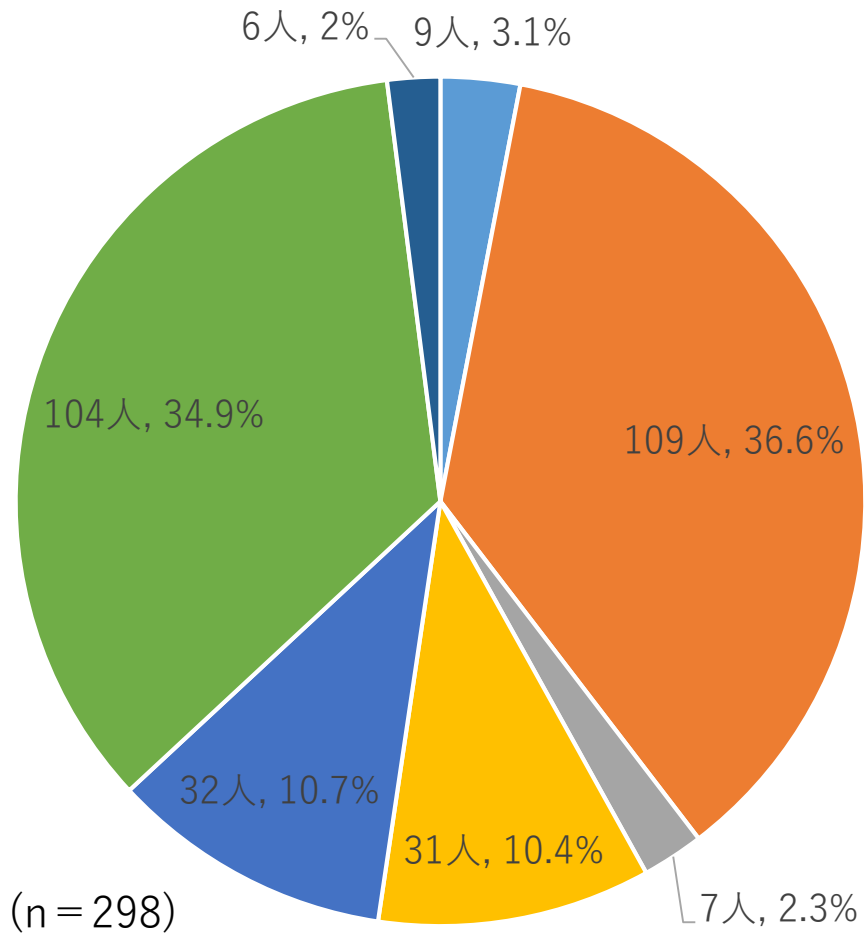
ア 地域ケア個別会議 (単位：回, 人)

センター	開催回数	参加人数
柏北部	4	32
柏北部第2	3	26
北柏	3	23
北柏第2	3	26
柏西口	3	28
柏西口第2	3	29
柏東口	3	23
柏東口第2	3	21
光ヶ丘	2	18
柏南部	3	29
柏南部第2	3	24
沼南	3	19
計	36	298



⇒ 専門職や地域の関係者等と事例の課題解決に向けた検討を行うことにより、ケアの質を高め、その人のニーズの充足を目指すとともに、検討のなかで参加者と地域の課題等の共有を行った。

ア 地域ケア個別会議



- 本人・家族
- 地域関係者
- 医療関係者
- 介護関係者
- その他
- センター職員
- 市職員

⇒主催のセンター職員を除くと、地域関係者が109人(36.6%)と最も多く、次いで介護関係者が31人(10.4%)であった。その他は社会福祉協議会や警察からの参加であった。

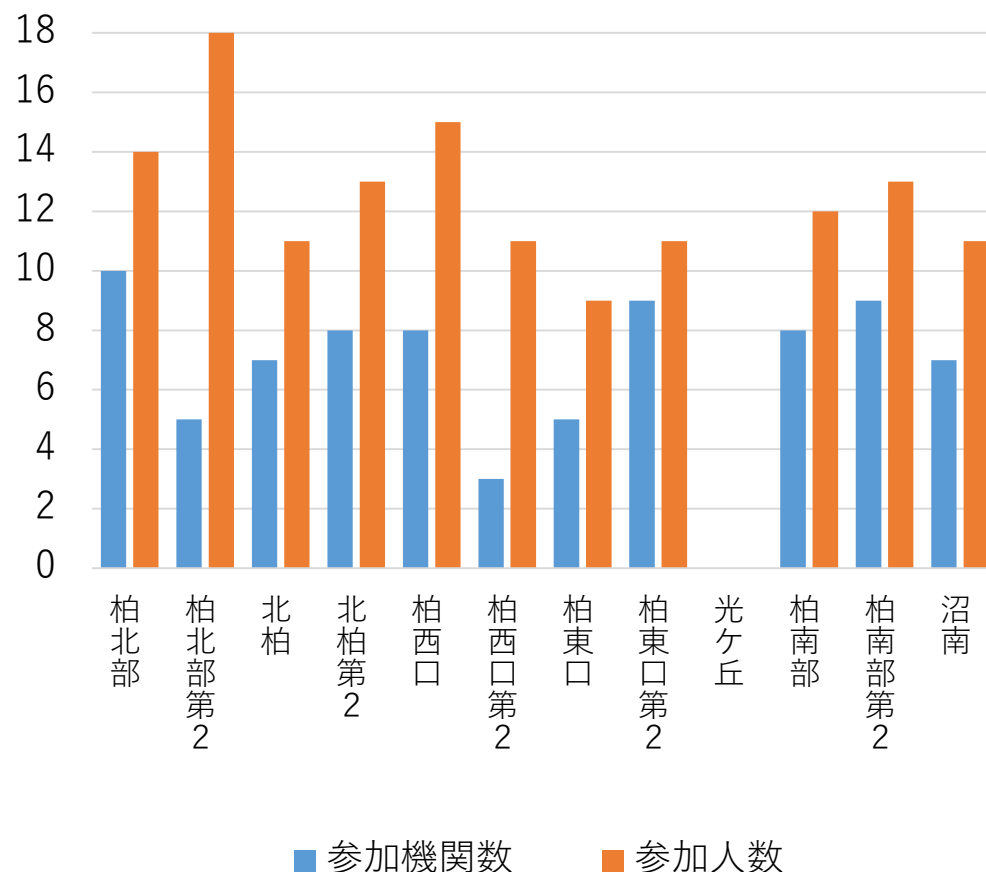
参加者内訳 (延べ人数)

イ 地域ケア推進圏域会議

(単位：機関，人)

センター	参加機関数 (延べ)	参加人数 (延べ)
柏北部	10	14
柏北部第2	5	18
北柏	7	11
北柏第2	8	13
柏西口	8	15
柏西口第2	3	11
柏東口	5	9
柏東口第2	9	11
光ヶ丘	未実施	
柏南部	8	12
柏南部第2	9	13
沼南	7	11
計	79	138

参加機関数及び参加人数 (延べ)



⇒個別事例の検討や総合相談支援のなかで明らかとなった地域の課題について、参加者で共有し、ネットワーク構築や地域資源の開発に向けた検討を行った。

令和2年度との比較

事業名	項目	R3年度	R2年度	前年度比
介護予防・生活支援サービス事業	ケアプラン作成数	3,366件	3,260件	1.03
	うち直営での作成件数	1,269件	1,136件	1.12
一般介護予防事業	フレイルチェック講座 参加者数	240名	230名	1.04
	サロン等の地域の団体への支援 参加者数	5,007名	3,238名	1.55
総合相談支援業務	相談件数（延べ）	14,655件	14,442件	1.01
	うち土曜日の相談件数（延べ）	1,470件	1,313件	1.11
権利擁護業務	虐待対応件数	42件	38件	1.11
	権利擁護講座 参加者数	439名	356名	1.23
包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	地区別研修 参加者数	503名	494名	1.02
	事例検討会 参加者数	183名	183名	1.00
認知症総合支援事業 （認知症高齢者見守り事業・認知症サポーター養成事業を含む）	認知症サポーター養成講座 参加者数	2,524名	1,730名	1.46
	認知症カフェ/認知症介護者交流会 参加者数	516名	286名	1.80
	かしわオレンジフレンズ交流会 参加者数	397名	317名	1.25
地域ケア会議推進事業	地域ケア個別会議 参加者数	298名	411名	0.73
	地域ケア推進圏域会議 参加者数	138名	213名	0.65

まとめ

- R3年度は前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症が収束に至らない状況下ではあったが、Web会議システム等の活用による会議や研修会を開催することで、事業を継続した。
- 地域の団体においては屋外での活動等、3密を避けた方法により再開する団体が立ち上がるなどの動きが見られ、これに合わせて地域団体に対する支援回数や各センター主催事業への参加者が増加した。
- 高齢者人口の増加に合わせ、要支援者数も増加しており、介護予防のケアプラン作成数は増加している。
また、職員の増員やプランナーの勤務日数増加を可能とする人件費の見直しを行ったことにより、直営でのケアプラン作成件数が増加し、委託率は仕様で目安として定めている60%に近づいた。
- センターへの相談は、認知症に関する相談が多く、また、認知症関連事業への参加者も増加していることから、地域での関心の高さが窺える。